

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して



Eジャーナルしずおか

平成30年(2018年)
3月5日
月曜日
第197号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3134 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp



ふじのくに茶の都ミュージアム

平成30年3月24日(土)開館!
授業や職場体験学習にご利用ください!

～お茶の未来はここから始まる～

日本一の大茶園牧之原台地に、お茶を専門とした県立博物館が開館します。世界のお茶や喫茶文化、日本と静岡県の茶業の歴史や新しいお茶の楽しみ方など、子どもから大人までお茶について楽しく学ぶことができます。

展示を見るだけでなく、さまざまなお茶を触って香りをかいだり、タッチパネルで自分の健康状態に合ったお茶の種類や入れ方を学んだり、体験型の学習を取り入れて、五感でお茶の魅力に楽しく触れられます。ミュージアムを活用した授業や職場体験学習をぜひご検討ください。



「茶樹王」のレプリカ(右)

「茶の都しずおか」の可能性を探る!

静岡県が日本における茶業の中心地として、どのように発展してきたか。先人から受け継がれてきた技術と伝統を映像や実物の製茶機械を通して、分かりやすく解説します。また緑茶の主要な成分であるカテキンやカフェインの結晶を顕微鏡で観察でき、科学の視点からもお茶の魅力に迫ります。

「世界のお茶」を知る!

中国、チベット、トルコの喫茶室が復元されており、各国の暮らしの中で育まれた独自の喫茶文化を紹介いたします。また世界各国のお茶に触れ、世界中で愛されているお茶の香りを楽しむことができます。

お茶の起源とされる中国雲南省の樹齢800年の「茶樹王」のレプリカ(実寸大)も見どころです。

「綺麗さび」を体感する!

敷地内には、江戸時代の大名家「小堀遠州」が手掛けた伏見奉行屋敷や仙洞御所の東庭が復元されています。本格的な茶室での茶道体験や日本庭園の散策を通して、遠州が好んだ美の世界観「綺麗さび」を体感できます。茶室の解説は、音声ガイドでお届けします。



開館記念企画展「現代に生きる綺麗さびの世界」

- 会期 平成30年3月24日(土)から平成30年6月10日(日)まで
- 概要 江戸時代の大名家小堀遠州が確立した美の世界観「綺麗さび」をテーマに、遠州が好んだ茶道具や志戸呂焼、国内外で活躍する陶芸家前田直紀氏の作品を展示します。

施設の基本情報

- 休館日 毎週火曜日(ただし、祝日の場合は翌平日)、年末年始
- 開館時間 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)
- 観覧料 一般300円(団体200円※20名以上)、大学生以下、70歳以上無料

申・問 ふじのくに茶の都ミュージアム ☎0547(46)5588
〒428-0034 島田市金谷富士見町3053番地の2



コンプライアンス
だより vol.13

悩みは一人で抱え込まず、気軽に相談しましょう!



風通しの良い職場環境づくりを!

本年度の不祥事の中にも、悩みを抱え、ストレスを感じていたことが引き金となった事例がありました。悩みを同僚や管理職に相談したいとき、同僚の様子が気になるときは職場の中で声掛けが自然にできることがとても大切です。授業や生徒指導などで、忙しい毎日かもしれませんが、お互いに声を掛け合って風通しの良い職場にしましょう。【教育総務課】



「教職員サポートルーム」へ相談を!

「思うように仕事が進まないけれども、同僚には相談しにくい」
そのようなときには、教員OB・OGが相談員の「教職員サポートルーム」へ気軽に相談してください。【福利課】

- 静東教育事務所管内 (055-939-5005)
- 静西教育事務所管内 (0537-24-3600)
- 県立学校・事務局 (054-221-3311)

※月・木曜日の正午～午後5時にお電話ください!

教職員サポートルーム相談員より

ただいま、2年目教職員面談中
～がんばっている教職員を応援しています～

「教職員サポートルーム」
聞きなれない名称で、いったいどんな業務をしているのか、そう思われる方が多いでしょう。昨年度から始まった事業なので無理もありません。
私たち相談員は、希望者を対象とした面談・電話相談の他に、小中学校(政令市を除く)、高等学校、特別支援学校、事務局の採用2年目教職員(初任者研修免除者を除く)を対象とした指定面談を実施し、お話を聴いています。
なぜ、指定面談対象者が初任者ではなく2年目教職員になっているのでしょうか。初任者は、初めての指導や職務で苦労しますが、指導教官や先輩から手厚い指導を受けられます。また、研修会等へ参加する機会も多く、多くの方々から直接、指導や助言を受けられます。
しかし2年目になると状況は変わります。教職員としてさらに自らを伸ばしていかななくてはならないと感じながらも、経験不足や現在置かれている状況から生じ

るさまざまな困難に遭遇します。例えば教員であれば、子どもたちが主体的に取り組める授業の準備や学級経営、生徒指導、部活動指導、担当となった学校行事や校務分掌など、日々の仕事に追われ、子どもたちのためにやりたいことは、たくさんあるにもかかわらず、十分にできていないと感じ、悩むこともあります。
教員にしても職員にしても自分の願いや思いを持ちながら職務に当たっていますが、思うように進まないものです。そんな状況下で実施する面談ですが、教職や事務職を目指した頃を振り返りながら、それまでの道のり、そして現在の状況をもう一度見直して、明日からの教職員人生に少しでもつながればと思います。年間700人以上の方々を面談をしています。子どもたちの成長を願ってがんばっている教職員の皆さんを応援しています。



4月2日は
「世界自閉症啓発デー」
4月2日～8日は
「発達障害啓発週間」です



自閉症を含む発達障害の方の多くは、脳の働き方の違いから、対人関係やコミュニケーション等に苦しさを持っています。一方で、興味のあることには豊富な知識を持ち、高い集中力を発揮する方もいます。同じ発達障害でも、その特徴は一人一人違います。

この期間中は、さまざまな形で、啓発メッセージが発信されます。自閉症や発達障害の方々の暮らしやすさのために、私たちができることを考えてみませんか?

静岡県 啓発デー

【静岡県発達障害者支援センター】

「顔が見える」地域との交流を目指して

実践NOTE 393



実行委員による始めの会の様子(筆者左)

本校は、スローガンとして「友と輝き地域に生きる」を掲げています。地域の方に温かく見守られ、多くの学校支援ボランティアの方々に支えられて教育活動を行っています。

その一環として、中学部では年2回、地元のボランティア団体「浜北女性の会」の方と花の植え付け交流を行っています。今年度は、地域の方と生徒との関係がより深められるように、「顔が見える」を意識した交流を目指しました。その取り組みを紹介いたします。

実行委員会の立ち上げ

生徒が活躍できるように、「花の植え付け交流実行委員会」を立ち上げました。実行委員には、始めと終わりの会の司会、あいさつなどの役割を任せました。

実行委員になったことで、生徒は変わりました。実行委員会が行われる日を自

に生徒に紹介しました。会の方の名前を覚え、交流を楽しみにする生徒もいました。

分て確かめたり、繰り返し司会の練習をしたりする姿が見られました。

見通しが持てるように

生徒が主体的に交流するためには、活動に見通しを持つことが大切だと考えました。そこで、昨年度の様子や「浜北女性の会」の方を紹介する写真、交流当日の日程を載せた掲示物を作成しました。すると、掲示物の前に足を止めて見入る生徒が多くいました。

また、当日クラスに入っ

て一緒に活動する会の方の写真と名前を、事前

に植え付け前の花壇を一緒

に耕す中で聞いた、会の方の言葉です。生徒たち

に対して温かい気持ちを感じ、胸が熱くなる



活動の見通しが持てるよう作成した掲示板

同時に頭が下がりました。私からも、「クラスには、〇〇さんが来てくれます」と言って、交流を心待ちにしている生徒がいることを伝えました。

交流当日は実行委員が一生懸命役割を果たす様子を、会の方は温かく見守つてくださいました。自分

「顔が見える」交流に

「花壇は平らにならして、苗は真っすぐに置きましよう。子どもたちはとても素直だから、苗が斜めだとそのまま植えてしまうかもしれないから」

「苗が上手に植えられて花壇は花いっぱいになり、会の方と生徒との関わりが

多く見られ、「顔が見える」交流になりました。

「顔が見える」交流に

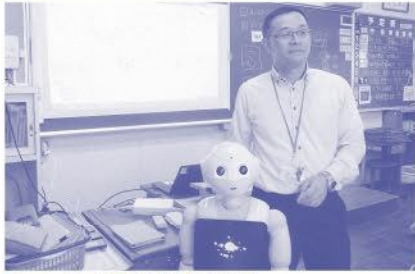
交流当日は実行委員が一生懸命役割を果たす様子を、会の方は温かく見守つてくださいました。自分



笑顔で交流する会の方と生徒

人型ロボットPepperを活用したプログラミング的思考の育成

実践NOTE 394



Pepperと一緒に授業を行う筆者

本校では、1学期から昇降口にPepperを置き、生徒たちが直接触れられる環境づくりを行いました。多くの生徒が興味を示し、下校時や休み時間に話し掛けたり、Pepperと一緒に踊ったりしてコミュニケーションを楽しむ姿が見られました。



作ったプログラムを実行

実際に自分たちが作ったプログラムが実行され、Pepperが命令した通りに話したり、動いたりした時には、歓声や拍手が起き、教室に笑顔が溢れました。

生徒が主体的に考える

授業では、「班ごとに好きな早口言葉を選んで、Pepperに話させる」という課題を与えました。中には「早口言葉と遅口言葉(ゆっくりと話す言葉)を1つのプログラムで実現できないかなあ」との生徒の呟きを基に、どうプログラムしたらよ



意見を出し合いながらプログラムを改良

未来へ向かって

現在、さまざまな分野でロボットの活用が進んでいます。生徒たちには、生活をより良くしていくことや目の前にある課題の解決に向け、主体的かつ多角的に思考し、柔軟に対応していく力がますます求められます。今後、授業を積み重ね、「プログラミング的思考」のさらなる育成に取り組んでいきたいと思

地域の方々と良い関係を築くことが、生徒たちにとって社会へつながる大切な経験になると考えます。今後、地域との学習活動を充実させていきたいと思

2学期からは、本格的にPepperを用いたプログラミングの授業に取り組みました。生徒たちは、Pepperが話したり動いたりするために必要なプログラムの仕組みについて、体験を通して学びます。どの生徒も、授業が始まる前には「とても楽しみ」な表情と「どうやってプログラムするのだろう」という少し不安な表情が交錯していました。

Pepperに触れよう！

生徒たちは、Pepperが大好きです。市役所や近くのお店で見かけることも増え、身近な存在となつてきています。

新年度に向けて「ぼほんプロジェクト」活用のススメ

新年度に向けて本棚の整理をお考えの方、必見！古本を寄付する「ぼほんプロジェクト」を活用して、県内のNPOが取り組む社会貢献活動を支援しませんか？



- 申込方法**
- 1.「ぼほんプロジェクト」ホームページから申込書をダウンロード。古本と共にダンボールに詰めます。
 2. (株)バリューボックスにお電話【0120(826)295】ください。宅配業者が集荷に伺います。古本5冊以上で送料が無料になります。
 3. バリューボックスが古本を査定。その査定額が「(公財)ふじのくに未来財団」を通じて県内のNPO活動に助成され、社会貢献・地域創造に役立てられます。
- 引き取り対象品**
- 書籍、CD、DVD等
- ※ISBN(図書(書籍)を特定するための番号)のない本は引き取り対象外です。詳しくは「ぼほんプロジェクト」ホームページをご確認ください。
- 問** 公益財団法人 ふじのくに未来財団
HP 070(5336)0461
http://www.bohon.jp
- 【県民生活課】

道徳

研究指定校の取り組みを紹介します

人権

考えたくなる、議論したくなる道徳に向けて

「主体的に判断・行動し、他者よりよく生きようとする児童生徒の育成」
これは、島田市立六合中学校、六合小学校、六合東小学校の3校共同の研究主題です。六合中学校区では、「ねらいの明確化」「発問の吟味」「自己の振り返りの充実」の3つを視点として授業実践を積み重ね、改善のポイントとなる事柄を見い出しながら、3校で共有してきました。

実践授業より

六合東小学校の3年2組では、授業改善の視点の一つである「自己の振り返りの充実」に重点を置き、「色紙を忘れた友達に、あえて貸さない」という内容の読み物資料「友だち」の授業を行いました。授業者は、子どもたちが「友達だからこそ、相手のために直した方がよいところを助言できる」ということに気付き、「よりよい友達関係」について考えを深めることを願っていました。

授業では、「どうして貸してあげられないと言ったのかな」と登場人物の真意について問い掛けると、子どもたちからは、「忘れ物をなくしたいから」「いつも人に頼ってしまう友達のことを考えたから」と登場人物に寄り添った意見が出されました。



「友達のことを考えて…」という子どもの思いを捉えた授業者は、「もし、自分だったらどうしますか?」とさらに問いかけます。子どもたちは役割演技を通して「自分だったらずっと仲よくしたいから貸してあげる。でも、いつも貸してあげるばかりでいいのかな」「このまま大人になったら友達が困っちゃうだろうから、貸さない」など登場人物の揺れ動く心情に自分を重ねていきました。「貸す」「貸さない」で意見が分かかれながらも、根底には、友達を思う気持ちが自らの心にあることに気付くことができました。

授業の後半に授業者は、事前アンケート「自分にとって友達とは何か」に付け加える言葉を求めました。「自分のことを思いやってくれる人」「何でもちゃんとしてくれる人」など、子どもたちは今までの自分を振り返りながら、友達の在り方について考えを深めることができました。

新たな一歩

「子どもは、一人一人が自分の思いをしっかり持って、それをうまく引き出すと、夢中になって考え始める。そんな授業を実践できたときは楽しい」



【静岡教育事務所】

これは、3校合同研修会でのある先生の言葉です。六合中学校区3校は、子ども自身が自らの良さと出会い、教員も自らを伸ばしていく子どもの姿に気付くことで、「主体的に考え、議論する道徳」の授業に向けて、さらなる一歩を踏み出しました。

子ども一人一人の人権を尊重した教育の推進に向けて

学校組合立牧之原中学校では、研究テーマにある「自他を尊重し、互いに認め、高め合う生徒の育成」を目指して、学校の教育活動全体で人権教育に取り組んできました。

教職員の意識改革

校内研修の中で、人権教育の視点に立った授業作りについてお互いが意識していること、公開授業等を参観して思ったことなどを話し合いました。「単元構想・授業構想を工夫し、付けたい力を明確にした授業作りに努めた」「生徒同士が関わり合える場の設定を工夫した」「個に確かな学力を付けさせるための振り返りの工夫をした」「学校全体・学級・委員会活動などで一人一人が活躍する場を設定した」などといった意見がありました。

生徒の学校生活を人権教育の視点で再確認

71年の歴史がある牧之原中学校ならではの取り組みを紹介します。

私語がなく無心になって一生懸命に行う「心を磨く黙働清掃」により、生徒は基本的生活習慣を身に付け、自己有用感の向上につながっています。

また、昇降口にある「5つの誓い文(お互いに認めあいます/相手のよいところを見つけます/相手の気持ちを考えます/勇気を持って話します/広い心で聞き入れます)」などの掲示物によって、生徒の自他を大切にすることが育っています。



給食の時間では、全校生徒がランチルームに集まり、学年の垣根を越えて交流しています。

地域との連携

もともと地域住民からの要望によって設立したという経緯がある牧之原中学校は、地域との関わりがとて深い学校です。地域住民との関わりからも、生徒自身の自己有用感や自尊感情を高めています。地域産業である「お茶」に関わる学習・行事として、お茶摘み、お茶販売、お茶会などを行っています。また、隣接する保育園、小学校と合同で多くの行事を行い、連携を図っており、お互いを認め合う気持ち、優しい心が育っています。



隣接する小学校や保育園児と一緒に、お茶摘みをしています

【教育政策課人権教育推進室】

そのネットの使い方、大丈夫?? ~子どもたちをネットトラブルから守るために~

子どもたちの携帯電話・スマートフォン等の所持率は年々上昇しており、それに伴い、会員制交流サイト(SNS)をきっかけとした性犯罪やネットいじめ等に子どもたちが巻き込まれる事態も多く発生しています。

インターネットは、使い方によっては有用なツールとなりますが、一方で、インターネットを「うまく使いこなす」方法を身に付けさせることが必要です。

県教育委員会では、子どもたちがインターネットを安全・安心に利用できるよう、3つの取り組みを行っています。学校での指導、家庭での話し合いに、ぜひご活用ください!

①「親子で話そう!!我が家のケータイ・スマホルール」カレンダーの配布

子どものインターネット利用については、家庭で話し合っ規則を決めることが大切です。このカレンダーには、親子で話し合っほしい6つのルール、話し合うポイントを記載しており、県内の全ての新小学6年生と新中学3年生に学校を通じて配布する予定です。

(社会教育課のホームページからダウンロード可能です。)

「親子で話そう!!我が家のケータイ・スマホルール」カレンダー



(イラスト作成: 常葉大学造形学部)

②「小中学校ネット安全・安心講座」の開催

小中学校などを会場に出前講座を開催しています。携帯電話事業者等を講師として、インターネット接続機器の利便性と危険性、トラブル事例やその処理方法、トラブルを避けるためのフィルタリング等について学びます。

ドラマやアニメを使いながら、子どもたちに主体的に考えさせる内容となっています。教職員や保護者向けの講座も実施可能です。

③「ケータイ・スマホルール」アドバイザーの養成

小中学生の保護者に対し、家庭でのルールづくりについて助言するアドバイザーを養成しています。現在117人のアドバイザーが活動しています。PTAの集まりや、保護者会等の機会を利用してアドバイスを受けることも可能ですので、ぜひご活用ください。アドバイザーのリストは市町教育委員会を通して各学校に送付しています。



本県でも、小学5年生の24.7%(*),高校2年生では97.4%が、インターネットに接続可能なケータイ・スマホを所持しています。(平成28年度末学校対象調査より)

*小学5年生の67.6%はネット接続可能なゲーム機等を所持しており、子どもたちが日常的にネット環境にいたることがうかがえます。



問 社会教育課 ☎054(221)3312

HP 静岡県 ケータイ・スマホルール で検索

★私たち大人のケータイ・スマホの使い方も改めて見直してみましよう!★

総合教育センター
みまろAngle

不登校の「未然防止」「早期発見・早期対応」に向けて

【専門支援部教育相談課】

不登校児童生徒数は年々増加しています。そこで、教育相談課では今年度から、不登校の「未然防止」「早期発見・早期対応」の具体的な対応策についての研究を進めています。学校における教育相談体制の在り方について「学級担任・ホームルーム担任の役割」に着目し、不登校による課題が複雑化・深刻化する前に指導・対応できるよう、教職員の必要な力の向上につなげていきたいと考えています。

不登校の「未然防止」「早期発見・早期対応」に向けた教職員に必要な力とは

観察する力

- ・ケース会議で検討
- ・SC、SSWの見立て
- ・専門機関との連携 など



不登校の未然防止や早期発見・早期対応するには、

- 児童生徒の変化に気付く「**観察する力**」
- 背景に何があるかを探る「**見立てる力**」
- 効果的で具体的な支援方法を考える「**支援方法を考える力**」

これらの力を教職員が身に付けていく必要があります。そして、具体的な手立てをチームで支援していくことが大事です。

現在、架空事例を用いた研修ワークシートを作成しています。このワークシートは、今まで気付かなかった新たな視点を学ぶことができるよう編集し、各種研修会の事例検討等で活用していきます。

見立てる力

支援方法を考える力

世界最高峰の試合をエコパスタジアムで!! ラグビーワールドカップ2019™チケット先行抽選販売

世界三大スポーツ大会の「ラグビーワールドカップ™」が、2019年に日本で開催されます。全国12会場の一つ、袋井市のエコパスタジアムでは、日本代表戦をはじめ、世界ランキング上位チームによる4試合が行われます。

世界最高峰の試合をスタジアムで観戦し、その魅力を体感することは、子どもたちがスポーツを楽しむ心を育む絶好の機会です。3月19日(月)から開催都市住民(静岡県民)向け先行抽選販売が始まります。一生に一度になるかもしれない!この機会をお見逃しなく!!

○試合日程(エコパスタジアム)

2019年 9月28日(土) 16:15~	日本 v アイルランド
2019年10月 4日(金) 18:45~	南アフリカ v イタリア
2019年10月 9日(水) 16:15~	スコットランド v ヨーロッパ地区代表
2019年10月11日(金) 19:15~	オーストラリア v ジョージア



○公式チケットサイト ラグビーワールドカップ チケットで検索

※チケット購入には公式チケットサイトからID登録が必要です。

問 ラグビーワールドカップ2019組織委員会チケットカスタマーセンター

◆よくあるご質問(FAQ) / お問い合わせフォーム

<https://tickets.rugbyworldcup.com/faq.html>

※必要事項を記入の上、お問い合わせ欄からお問い合わせください



〈公式チケットサイトQRコード〉

富士山麓山の村が利用しやすくなります!!

富士山麓山の村は、富士山麓の大自然の中での宿泊研修を通じて、協調性や自主性、創造性、自然愛護の精神を身に付けることができる施設です。

皆さまがより快適に研修できるよう、現在ハード・ソフト両面から改善を進めています。学校の宿泊研修や部活動合宿、勉強合宿、日帰り遠足等でご利用ください。

- 安全面** 敷地内に外灯を増設!
- 食事面** 食事は専用車両で運搬/回収!
- 活動面** 活動プランを提案!

利用料金	朝食	600円	寝具 リネン代	1人1泊 453円 (消費税込み)
	昼食	750円		
	夕食	950円		

申・問 富士山麓山の村 ☎0545(36)2236

知っていますか? + ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。そうした方々がかばん等に付け、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせる役割を担うのが「ヘルプマーク」です。

自然に助け合いができるように... 「ヘルプマーク」を広めてください

「ヘルプマーク」が、誰もが知っているマークになり、自然に助け合いができる社会を目指しています。

皆さんの学校でも、ポスターを掲示したり、お便りに掲載したりして、「ヘルプマーク」の普及にご協力ください。

ポスターやチラシは障害者政策課ホームページからダウンロードできます。

HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-310/shougaipln/plan/index.html>
静岡県 ヘルプマークで検索

「ヘルプマーク」を着けた方を見かけたら 思いやりのある行動をお願いします

- 電車・バスの中で席をお譲りください**
外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。
- 駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします**
交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。
- 災害時は、安全に避難するための支援をお願いします**
視覚障害者や聴覚障害者などの状況把握が難しい方、肢体不自由等の自力での迅速な避難が困難な方がいます。

問 障害者政策課 ☎054(221)2352 ☎054(221)3267

特別支援学校・学級も利用できます

小学校低学年向け
お店ごっこ体験

ま・あ・る

静岡市こどもクリエイティブタウン

平成30年度 学校団体利用受付スタート(4/1~先着順)

JR清水駅前にある『ま・あ・る』は、仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済のしくみや地域産業について学ぶ施設です。平日は学校団体でご利用いただけます。キャリア教育・生活科・総合的な学習・社会科の時間に最適なプログラムを提供しています。

商店街での職場体験

小学校高学年向け
職業講話・職業体験

【住所】静岡県静岡市清水区辻1-2-1 えじりあ3・4階 【開館】9:30~17:30
【電話】054-367-4320 【メール】maaru@maaru-ct.jp

まずはお電話でお気軽にお問合せください。
ホームページから【学校利用の手引き】もダウンロードいただけます。

ま・あ・る HP